

# 中学地理プリント（過去問類似）

## 南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/9

**問1** 南アメリカ大陸の地理的特徴を理解するため、ブラジル東海岸のサンパウロから大陸を横断してペルーのリマに至るルートをご想定します。この2都市間の直線距離と、それに関連する地理的状況の説明として正しいものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）

- 直線距離は約3,500kmであり、この間にはアンデス山脈がそびえている。
- 直線距離は約7,000kmであり、ほぼ全域がアマゾン川の流域に含まれる。
- 直線距離は約10,500kmであり、複数の時間帯（標準時）をまたいでいる。
- 直線距離は約14,000kmであり、赤道を越えて北半球まで達している。

**問2** オーストラリアにおける鉄鉱石の産出と輸出に関する説明として、地理的な背景をふまえた正しいものを選んでください。（2024年 長崎公立入試 類似）

- 大陸北西部の乾燥した地域で大規模な鉄鉱石の鉱山が集中しており、そこから専用の鉄道で港へ運ばれ、日本などへ輸出される。
- 大陸東部の降水量の多い地域で鉄鉱石が産出されており、主に火力発電の燃料として日本へ輸出される。
- 熱帯雨林の広がる大陸北部で小規模に採掘されており、そのほとんどがオーストラリア国内の製鉄所で消費される。
- 大陸南部の都市近郊で地下深くを掘り進める坑道掘りによって採掘され、自動車産業が盛んな欧州諸国へ主に輸出される。

**問3** 南アメリカ大陸の北部を西から東へ横断するように流れ、大西洋に注いでいる河川があります。この河川の流域面積は約705万平方キロメートルに達しますが、この「流域面積が世界最大である」という特徴を持つ河川の名称を次の中から選びなさい。（2015年 佐賀公立入試 類似）

- アマゾン川
- ナイル川
- ミシシッピ川
- 長江

**問4** 16世紀にスペインに征服されるまで、現在のペルーやボリビアを中心としたアンデス山脈沿いの高地で栄えた、マチュピチュなどの石造りの都市遺構で知られる帝国を何と称しますか。（2017年 静岡公立入試 類似）

- インカ帝国
- マヤ文明
- アステカ帝国
- ムガル帝国

**問5** オーストラリア大陸に古くから居住している先住民で、地面に置いたキャンバスに細かな点を用いて描く独自の芸術文化を継承している人々を何と称しますか。（2023年 北海道公立入試 類似）

- アボリジニ
- マオリ
- イヌイット
- アイヌ

**問6** 北アメリカ大陸の西海岸に位置するロサンゼルス、西アジアのトルコに位置するアンカラ、そして日本列島に位置する東京は、いずれもプレートの境界付近にあるため地震の発生頻度が高い地域です。これに対し、プレートの境界から離れた安定した地塊（安定陸塊）に位置しており、地震の発生頻度が極めて低い都市はどこですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

- 東京
- アンカラ
- ロサンゼルス
- シドニー

**問7** 人口が約2600万人のある国において、輸出総額に占める品目の割合を調べたところ、鉄鉱石が33.9%、石炭が13.6%、液化天然ガス（LNG）が10.9%となっていました。この統計に該当する国として最も適切なものはどれですか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

- オーストラリア
- 中国
- カナダ
- 日本

**問8** オーストラリアにおいて、18世紀後半からイギリスによる植民地化が進められる以前から、その土地で独自の文化を築いて生活してきた先住民を何と呼びますか。（2026年 京都府公立入試 類似）

- アボリジニ
- マオリ
- イヌイット
- ヒスパニック

**問9** オーストラリアの輸出構造の変遷をまとめた資料において、1950年代には輸出総額の約半分を占めていた「羊毛」の割合が低下し、代わって現在の輸出額の上位を占めるようになった品目の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。（2023年 鳥根公立入試 類似）

- 鉄鉱石・石炭
- 小麦・牛肉
- 原油・天然ガス
- 自動車・半導体

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 直線距離は約3,500kmであり、この間にはアンデス山脈がそびえている。	サンパウロとリマの直線距離は約3,500kmです。このルートを移動する場合、ブラジル高原を越え、さらに大陸の西縁を南北に走る険しいアンデス山脈を越える必要があります。距離の感覚だけでなく、その間にどのような地形が介在しているかを理解することは、南アメリカ州の交通や物流の課題を考える上で欠かせない視点です。
問2	<b>答え 1</b> 大陸北西部の乾燥した地域に大規模な鉄鉱石の鉱山が集中しており、そこから専用の鉄道で港へ運ばれ、日本などへ輸出される。	オーストラリアの鉄鉱石は、主に大陸北西部のピルバラ地区などの乾燥した地域に分布しています。この地域は起伏が少なく広大であるため、大型機械を用いた露天掘りが可能であり、高い生産性を誇ります。採掘された鉄鉱石は、長大な貨物列車によって北西沿岸の積出港まで運ばれ、日本や中国といった鉄鋼生産の盛んな国々へ向けて輸出されます。燃料となる石炭は東部で多く産出されるため、混同しないように注意が必要です。
問3	<b>答え 1</b> アマゾン川	南アメリカ大陸のアンデス山脈に源を発するアマゾン川は、多くの支流を合わせながら広大な熱帯雨林を流れ、世界最大の流域面積を形成しています。世界最長の河川であるアフリカ大陸のナイル川としばしば比較されますが、水の集まる範囲を示す「流域面積」においてはアマゾン川が世界一です。
問4	<b>答え 1</b> インカ帝国	15世紀から16世紀にかけて、南アメリカ大陸の西部で巨大な勢力を誇ったのがインカ帝国です。文字を持たない代わりに「キープ」という紐の結び目で情報を記録する独自の文化を持ち、標高の高い山岳地帯に高度な石造建築の技術を用いた都市を築きました。
問5	<b>答え 1</b> アボリジニ	オーストラリア大陸の先住民族はアボリジニと呼ばれます。彼らは自然界の万物に精霊が宿るという独自の信仰を持ち、砂絵や岩壁画、そして点描（ドット・ペインティング）などの伝統芸術を現代に伝えています。ニュージーランドの先住民族であるマオリと混同しないよう注意が必要です。
問6	<b>答え 4</b> シドニー	地球の表面を覆う岩板（プレート）の境界付近では、地殻変動が活発で地震が多く発生します。日本、トルコ、アメリカ西海岸などは「新期造山帯」などに関連するプレート境界に位置する代表的な地域です。一方で、オーストラリア大陸の大部分は非常に古い地質からなる「安定陸塊」と呼ばれ、プレートの内部に位置しているため、境界付近と比較して地震が発生しにくいという特徴があります。
問7	<b>答え 1</b> オーストラリア	オーストラリアは広大な国土に鉄鉱石や石炭、液化天然ガス（LNG）といった豊富な地下資源を有しており、これら鉱産資源の輸出が経済の大きな柱となっています。人口は約2600万人と比較的人口密度が低いことも特徴です。選択肢にある中国は機械類や衣類、カナダは原油や機械類が輸出の上位を占めるため、統計上の品目構成からオーストラリアと判断できます。
問8	<b>答え 1</b> アボリジニ	オーストラリアはかつてイギリスの植民地とされ、一時は白人以外の移民を制限する白豪主義がとられていました。しかし、現在は多文化社会へと転換しており、植民地化以前から居住していた先住民であるアボリジニの独自の文化や権利を尊重する政策が進められています。なお、マオリはニュージーランドの先住民を指します。
問9	<b>答え 1</b> 鉄鉱石・石炭	オーストラリアの産業は、かつては羊毛を中心とした牧畜業が主体でしたが、1960年代以降、豊かな地下資源の開発が進みました。特に広大な露天掘り鉱山から採掘される鉄鉱石や、火力発電に利用される石炭は、現在のオーストラリアを支える主要な輸出品目となっています。選択肢にある小麦や牛肉も重要な輸出品ではありますが、総額で見ると鉱産資源の割合が非常に高いのが特徴です。